

いじめ等対応支援チームからの提言

～保護者・地域と連携したいじめ防止の取組の推進に向けて～

<校外におけるいじめ認知の促進>

- ① 学校と地域社会とのコミュニケーションの活性化
- ② 校外においていじめが発生する可能性がある場所の把握と未然防止
- ③ 校外におけるいじめの学校への円滑な情報伝達

<児童生徒の健全育成の充実>

- ④ 「子どもを見守る」活動の充実
- ⑤ いじめ一掃プロジェクトにおける地域の特性を生かした取組の充実
- ⑥ 地域行事等への参加促進と、地域における体験的学びの充実

保護者・地域と連携したいじめ防止の取組の推進に向けて

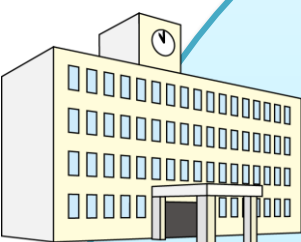
いじめ等対応支援チームからの提言

認知促進に向けて

- 1 教職員による学区域パトロール等の機会をととして、地域住民や地域の商店等とのコミュニケーションを深め、子どもたちの校外生活についての情報共有が活発に行われるようにする。
- 2 地域の公園、商店等子どもが立ち寄り集まったりする場所について学校と地域で共通認識を深め、いじめ等問題行動防止のための見守りを強化する。
- 3 校外におけるいじめの情報が、積極的かつ円滑に学校に伝達されるための仕組みを整備し、地域と学校が一体となっていじめ防止に取り組む意識を醸成する。

健全育成に向けて

- 4 土曜授業日を活用したPTAによるあいさつ運動等をととして、「大人が子どもを見守る」姿勢をアピールする。
- 5 いじめ一掃プロジェクトについて共通理解し、地域の特性を生かしながら学校、保護者、地域が一体となって行ういじめ防止の取組を工夫する。
- 6 地域行事等への児童生徒の積極的な参加を促し、地域社会における体験的な学びの充実に努める。



学校の実態と連携の課題

校外でのいじめの認知が困難

地域と連携した取組が不十分

地域と連携した取組についてのアイデア不足

